

令和 2 年度第 1 回  
千葉県青少年問題協議会  
開催結果(概要)

## 令和2年度第1回千葉県青少年問題協議会（書面開催）

- 1 日 時 令和2年10月19日（月）
- 2 出席者数 12名
- 3 出席委員 貞廣 齋子委員、嶋崎 政男委員、諸富 祥彦委員、上條 理恵委員、萩原 博委員、茂呂 剛委員、村上 真悠子委員、立川 和子委員、岡部 成行委員、川村 英雄委員、黒坂 典雄委員、三部 ミヨ子委員  
※意見書の提出をもって会議の出席とし、議事等に対する審議があったものとみなす。
- 4 会議議題
  - ・ 議事  
第3次千葉県青少年総合プランの令和元年度事業に係る評価について
  - ・ 報告事項  
青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）令和元年度実施結果について

～ 議事 第3次千葉県青少年総合プランの  
令和元年度事業に係る評価について ～

### <意見（質問）>

事業番号 37-2 グローバル人材プロジェクト事業について

#### 【委員】

予算に対して決算額が約6倍になっているが、その具体的内容について教えてください。

#### 【委員】

R元年度の決算額及びR2年度の予算額の増額に関して、どのような理由によるものか（使われ方）教えてください。

#### 【学習指導課】

参照した予算・決算書の項目の間違いによる入力ミスがありました。確認不足となり申し訳ありません。令和元年度の決算額は19,424、令和2年度当初予算額は27,067、となります。

## 事業番号 60 学び直し支援事業について

### 【委員】

学び直し支援事業は、R2年度予算が前年度に比べ3倍近い予算になっています。近年高校中退者が増え支援対象者がかなり増える見込みからですか。貧困世帯が増えているからですか。

### 【学事課】

R2年度から国の制度改正により、支援額が大幅に拡充されたこと及び各学校に制度が浸透し、利用生徒数が増加傾向であることなどを踏まえて予算措置したものです。

## 事業番号 90 青少年補導センター事業について

### 【委員】

高齢化が進んでいると思うが、平均年齢、定年制の有無について、教えてください。時代の流れが速すぎるため、子どもと対峙した時に会話が成立しないことも考えられるので、定年制を設けてはどうでしょうか。

### 【県民生活・文化課】

県内17青少年補導センター(青少年補導員を委嘱していない2市を除く)に調査を依頼したところ、令和2年度における青少年補導員全体の平均年齢は、50.7歳であることが分かりました。

なお、青少年補導員の委嘱は各市の条例や規則に基づいているので、委嘱要件や定年制の有無に関しても様々です。

また、子どもとの対峙の件ですが、青少年補導員が補導活動をする中で、「愛のひと声」という標語を掲げ、声掛け等を行っておりますが、研修、講演会を開催するなどして、子どもに対する声のかけ方を習熟させることとともに、昨今の子どもの様態や流行を把握することに努めています。

## 事業番号 107 自殺対策推進事業について

### 【委員】

新型コロナウイルスの影響もあってか、子どもの自殺(特に女子)が、昨年度より増加しているが、昨年より予算が減っており、今後の対策は大丈夫なのでしょうか。

また地域における自殺対策の具体的内容について教えてください。

### 【健康づくり支援課】

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による活動や複数人が集まる

研修会等の開催が出来ず、「対面相談事業」や「人材養成事業」の事業数は減っていますが、「若年層対策事業」の事業数は増加しております。県ではインターネット上で自殺をほのめかしたり、自殺の手段等を検索したりする傾向があるとされる若者に対し、検索連動型広告により相談窓口情報を提供することにより、若年層の自殺防止を図っております。（インターネット上で「自殺したい」「自殺手段」等のキーワードを検索したものに対する検索連動型広告を行い、表示した広告から県のこころの相談窓口HPに誘導する。）

今年度から事業を通年化しており、更なる強化に取り組んでおります。

各市町村においても、SNS相談事業を始めるなど積極的に若年層に向けた活動を進めております。

### <意見（要望等）>

#### 【委員】

各委員からの御意見について、データも示しつつ、丁寧に御回答いただき、ありがとうございます。個人的意見も申し上げるならば、「不登校対策推進校の指定」（56-II-3-⑥）、「いじめ防止対策等推進事業」（58-II-3-⑥）での千葉独自の取り組みの推進、「ひきこもり地域支援センター事業」（61-II-3-⑥）のアウトリーチ数の増加等の意見は、私自身の意見とも重なる部分であり、御回答いただいたとおり、今後の発展を期待したいと考えます。

#### 【委員】

適切にまとめられています。

通読すると用語の表示（「子ども・子供」、「取組・取組み」等）が数か所気になりました。

#### 【委員】

問題ありません。

#### 【委員】

元年度事業目標の達成へ、執行態勢・環境整備、市町村や地域住民、団体との連携において前進が見られたのは大きな成果。「ボランティアへの参加」「不登校・中途退学の防止」「子どもの貧困対策」へは一層の努力をお願いします。

#### 【委員】

現代の青少年世代にとって、SNSは非常に身近なコミュニケーション手段であり、「いじめ防止対策等推進事業」（事業番号58）におけるSNSを活用した相談事業は、相談のしやすさにつながっていると思います。他の事業（ニートや引きこもり、不登校、自殺対策、家庭支援（虐待防止）等）にお

いても、SNSやオンライン相談などを導入することで、潜在的なニーズの掘り起こしにつながると考えます。

**【委員】**

「いじめ防止対策等推進事業」(No.58)

事業実施されている事に対して、成果が出ていると思います。

記載にもあるが、いじめに関して、表に出てこない案件であったり、相談がなかなか出来ない児童生徒に対して、どのように対応していくか引き続き検討をお願いします。

**【委員】**

「青少年指導者育成事業」(事業No.114)

青少年健全育成に携わっている、特に新人の方を対象に育成事業の講習会を進めていただきたいと思います。

コロナ禍にあって、思うように行事が行われていない状況において今後コロナが終息した後の、新しい行事計画の見直しをコーディネートしていただきたいと思います。

～ 報告事項 青少年ネット被害防止対策事業  
(ネットパトロール) 令和元年度実施結果について ～

**<意見(質問)>**

**【委員】**

監視員2人でこれらの学校の検索を監視することは可能なのでしょうか。

令和元年度の「特に問題のある書き込み件数が」極端に減少しており、教育現場の現状とはだいぶ乖離している感が否めないが、どのような検索をしているのか教えてください。

**【県民生活・文化課】**

令和元年度においては、非常勤の監視員2名がツイッターで学校名から検索を行い、ヒットした一覧から学校名・氏名・顔写真及び書き込み内容のパトロールを行っていました。更にパトロールの過程でインスタグラムなど、別のSNSのアカウントが判明した場合には、その内容もパトロールを実施していたところです。

昨年度までツイッターを主な検索ツールとして利用してきましたが、青少年が利用するSNSの多様化により問題が潜在化し、問題のある書き込みが発見できていない可能性があると考えられたことから、今年度よりネット検索等の専門的な知識や技術を有する事業者に業務委託を行い、問題のある書き込みの

早期発見・早期対応に取り組んでいます。

### <意見（要望等）>

#### 【委員】

報告に当たっては、実績も重要ですが、パトロール実施上の困難性や課題をお示しいただけると、委員の皆様から御意見がいただけるとともに、今後の追加的手立ての検討にもつながると思います。

#### 【委員】

取組の成果が上がっていることが分かります。

#### 【委員】

よくやっていると思いますが、さらなる充実が求められます。

#### 【委員】

H29年度に比べ、R元年度は、顕著な成果が見られます。一方で、ネット社会は今後も高度化、深化が推察されるので、継続的な取組は不可欠です。

特に出会い系や自殺など青少年を「闇」の世界へ誘うサイトに対する監視を強化して欲しいです。

#### 【委員】

スマートフォン等の普及に伴い、青少年のインターネット利用は増加、低年齢化の傾向にあるといわれています。中学校への携帯電話の持込みも容認されるという動きもあり、今後も青少年の利用機会の増加が見込まれます。インターネットを正しく安全に利用することがますます必要であり、青少年が被害に遭わないよう、インターネット上のトラブルの未然防止に引き続き取り組んで欲しいと思います。

#### 【委員】

問題のある書き込み件数が大幅に減少しており、ネットパトロールや学校等での啓発活動が奏功していると感じました。

また、小中学校における継続的な指導が、低年齢層の書き込みの減少に結びついていると思われま。今年度以降は、コロナの影響で在宅時間が増え、ネット上での被害や不適切投稿等も増加する可能性があるため、それらを防止するための啓発活動とネットパトロールを一層充実させて欲しいです。

また、スマートフォン向けアプリが多様化しており、動画投稿アプリ等の利用も増えているため、実情に合わせ、パトロール対象アプリの範囲を拡大することも随時検討していただきたいと思います。

**【委員】**

減少しているところを見ると、取組が上手くいっているものと思われます。

引き続き重点項目として進めていただき、潜在化している可能性についても調査を進めて取組をお願いします。

**【委員】**

SNS上でのいじめの書き込みは子どもたちの知識も向上しており、見つけづらくなってきているのではないかと思います。パトロールされている方の今まで以上の知識向上と人員を増やす事も必要ではないかと考えます。身近でも実際に知り合いの子どももSNS上にいじめの書き込みがありました。今年度のような新型コロナウイルス感染症の状況下での何か対策が必要かと考えます。

**【委員】**

ネットパトロールを実施することは今後も必要と思われます。

ネットによる「いじめや中傷」で多くの生徒が被害を受けていることを学校(中学・高校)全体で共有して、生徒たちに現状と怖さを勉強して欲しいです。

また、専門の講師をお呼びしての講演会を企画していただきたい。

今後も、ネット被害の防止に努めていただきたい。

**【委員】**

SNSを通じて、児童生徒へ声かけをしていく事件も多くみられます。犯罪につながるような書き込みなど、今後も見守りをお願いしたいと思います。

～ その他 ～

**<意見(要望等)>**

**【委員】**

これまでも、社会的経済的課題を中心に、困難を抱える青少年が多く存在しましたが、これらの青少年は、今回のコロナ禍により、更に複雑で重大な困難を抱えることになっていると考えます。今後、青少年に対する施策は、アウトリーチや困難を抱える青少年への傾斜的資源配分も含め、これまで以上に社会的ニーズの高い政策領域になると考えます。

**【委員】**

質問に丁寧にお答えいただき、ありがとうございます。

いじめ防止対策等推進事業については、法第33条に鑑み、県教委から市町村教委への指導、助言、援助の在り方を今後検討していただきたい。援助には、金銭的援助を含むと考えられています。重大事態への対処には多額の費用が必

要となっています。

**【委員】**

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、子ども達に多大なストレスを与えており、リストカットやオーバードーズも増えていると実感しています。

また、子どもの自殺も増加しており、何とかこのような対策を強化していただきたい。

**【委員】**

2020 東京オリパラを契機とした「子ども・若者」の育成施設の実施と成果に期待するとともに、新型コロナウイルス感染状況や社会における格差の拡大等が「子ども・若者」に及ぼす影響を踏まえた政策立案、更に地球規模で対応が求められている「SDGs」の考え方を反映したものにして欲しいです。

**【委員】**

次年度に活用していきたいと思います。

令和2年10月19日

千葉県青少年問題協議会